

豊川水系における水資源開発基本計画の一部変更について

令和 4 年 11 月 16 日

国土交通省 水管理・国土保全局 水資源部

豊川水系における水資源開発基本計画の概要

- 豊川水系は、平成2年2月に水資源開発水系に指定され、平成2年5月に水資源開発基本計画(1次計画)が決定。
- 現在は、平成18年2月に策定された第2次計画になっており、以降、2回の一部変更を経ている。

1. 水の用途別の需要の見通しと供給の目標

- (1) 目標年度
平成27年度目途
- (2) 供給地域
豊川水系に各種用水を依存している愛知県、静岡県
の諸地域
- (3) 水の用途別の需要の見通し
 - ◆ 水道用水 : 約 4.5 m³/s
 - ◆ 工業用水 : 約 1.6 m³/s
 - ◆ 農業用水 : 約 0.3 m³/s (新規需要)
- (4) 供給の目標
近年の降雨状況等による流況の変化を踏まえた上で、
地域の実状に即して安定的な水の利用を可能にする
 - ◆ 近年の20年に2番目の渇水年の流況 : 約6.5m³/s
 - ◆ 計画当時の流況 : 約7.9m³/s

豊川水系における水資源開発施設とフルプランエリア



2. 変更の経緯

- H 2. 2. 9 水系指定
- H 2. 5. 17 基本計画策定 (水需給計画決定, 設楽ダム、豊川総合用水、豊川用水施設緊急改築)
- H11. 4. 7 一部変更 (豊川用水二期の追加、豊川総合用水の事業主体変更等)
- H18. 2. 17 全部変更 (水需給計画変更)
- H20. 6. 3 一部変更 (豊川用水二期の変更)
- H27. 12. 18 一部変更 (豊川用水二期の変更)

設楽ダム建設事業 ～ 事業の概要 ～

➤ 設楽ダム建設事業は、豊川水系豊川に洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水の補給及び水道用水の供給を目的として、「設楽ダム」を建設する事業である。

【事業主体】国土交通省 中部地方整備局

【設楽ダムの諸元】

- 位置 : 豊川水系豊川 (愛知県北設楽郡設楽町)
- 型式 : 重力式コンクリートダム
- 堤高 : 129.0m
- 堤頂長 : 558m
- 総貯水容量 : 約98,000千m³
- 有効貯水容量 : 約92,000千m³

【事業の概要】ダム基本計画 (第2回変更) (令和4年8月)

◆目的

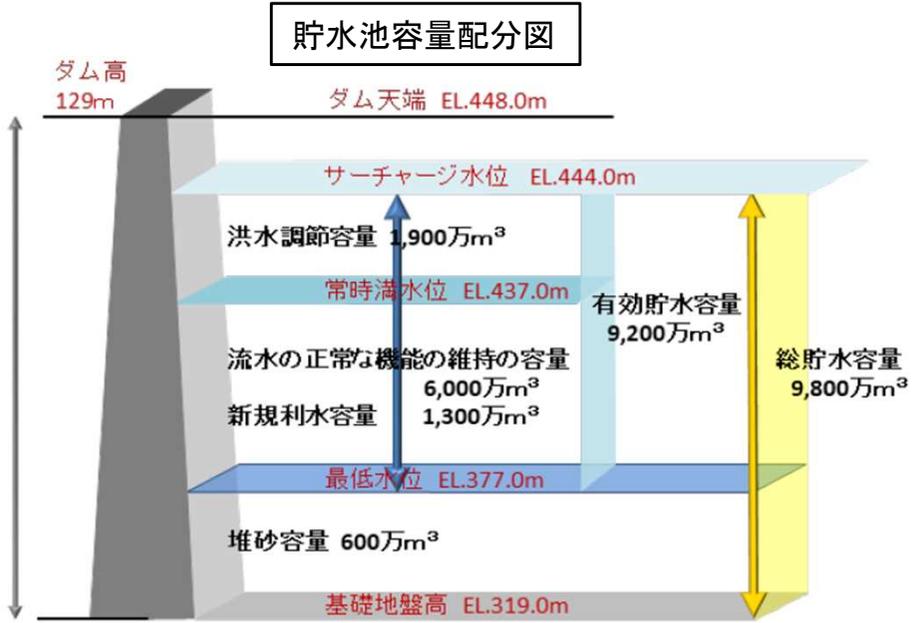
- ・洪水調節
- ・流水の正常な機能の維持
- ・かんがい用水の補給
- ・水道用水の供給

◆予定工期 :

昭和53年度から令和16年度まで

工期変更の主な要因
・地質調査や詳細設計の結果を踏まえたダム本体掘削量及び打設量の見直し
・「働き方改革関連法」に基づく労働条件を考慮した工期の確保

◆事業費 : 約3,200億円



設楽ダム 完成イメージ



【参考】^し ^た ^ら 設楽ダム建設事業 ～ 事業の経緯 ～

平成2年	5月	「豊川水系における水資源開発基本計画」閣議決定
平成11年	12月	「豊川水系河川整備基本方針」の決定(平成11年12月1日)
平成13年	11月	「豊川水系河川整備計画」を策定(平成13年11月28日)
平成15年	4月	建設段階へ移行
平成18年	2月	「豊川水系における水資源基本計画(フルプラン)」の全部変更を閣議決定
	4月	フルプランの全部変更に伴い豊川水系河川整備計画を一部変更(平成18年4月6日)
平成20年	10月	ダム基本計画官報告示(平成20年10月27日:国土交通省告示第1285号) 事業費:約2,070億円、工期:令和2年度
平成21年	8月	道路工事に着手
	12月	検証の対象とするダム事業に選定
平成22年	11月	「設楽ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」を設立 (平成22年11月26日から平成25年2月17日まで5回の「検討の場」を開催)
平成26年	4月	国土交通大臣による対応方針[継続]の決定(平成26年4月25日)
平成27年	12月	水没家屋移転(124世帯)の契約完了
平成28年	9月	ダム基本計画変更(第1回)官報告示(平成28年9月20日:国土交通省告示第1076号) 事業費:約2,400億円、工期:令和8年度
平成29年	3月	転流工工事着手
令和2年	3月	ダム本体左岸頂部掘削工事着手
令和4年	8月	ダム基本計画変更(第2回)官報告示(令和4年8月31日:国土交通省告示第939号) 事業費:約3,200億円、工期:令和16年度